

サッカー競技(知的部門)申し合わせ事項

開催日：令和8年5月24日（日）・5月31日（日）

会 場：駒沢オリンピック公園総合運動場

第二球技場 補助競技場

競技規則

本項に定める以外は、令和8年度公益財団法人日本パラスポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

競技上の規則及び注意事項

開催日は、以下の通りとする。また、1部-11人制、2部・3部-8人制とする。

5月 24 日（日）… 2部・3部・5人制

5月 31 日（日）… 1部・個人種目

1. 団体戦

(1) 選手エントリー表は、1部（11名の選手と最大7名の交代要員）、2部・3部（8名の選手と最大10名の交代要員）、5人制（5名の選手と最大5名の交代要員）とし、試合ごとに試合開始30分前までに競技本部へ提出すること。

(2) 試合時間は、以下の通りにする。

1 部 前後半各20分。ハーフタイム5分。

2 部 前後半各15分。ハーフタイム5分。

3 部 前後半各10分。ハーフタイム5分。

5人制 前後半各 7分。ハーフタイム1分。

(3) 選手交代は競技の停止中、次の要領で行う。

① エントリー表に記載した交代要員の中から、1部は5名以下、2部・3部は5名以下の選手が交代できる。

② 交代する場合、競技場タッチライン中央付近で審判員の承認を受ける。

③ 交代のため退場する選手が完全にグランド外に出てから、交代要員がグランドに入る。

④ 一度交代のため退場した選手は、再びその試合に参加することはできない。

⑤ 交代要員は、各チームの選手席にいなければならない。

⑥ 5人制は、交代自由とし、一度交代した選手が再度ピッチに入ることもできる。

(4) ボールは大会本部で用意する（モルテン検定5号球）。

(5) 競技は全て審判員によって進行される。（5人制は1名審判、オフサイドなし）

(6) 試合中、登録メンバー及び監督・コーチ以外はベンチに入れない。

(7) 選手が負傷などでグランドから出入りする場合は、審判員の承認を受けなければならない。

(8) 付添、ボランティア等の助言・協力は、グランド内では禁止する。

(9) 競技中、選手に不測の事態が生じたり、介助が必要となった場合は、審判員またはチーム帶同役員にその旨を申し出て、指示に従うこと。

(10)双方のチームのユニフォームが識別しにくいときは、審判員の指示によりビブス等を着用する。

（ビブスは各チームで用意する※感染症拡大防止の観点から着回し、貸与はしない）

(11)競技に支障をきたすユニフォーム、シューズ等の用具は使用できない。（ゴム底スパイクは使用可）

(12)同点の場合の上位進出チームは、各チーム3人ずつPK戦によって決定する。

(13) 決勝戦において、同点の場合は5分ハーフの延長戦を行う。

2. 個人種目

(1) 個人種目は、大会2日目(5月31日(日))の9時から12時(予定)に補助競技場で実施する。

(2) 個人種目は、団体戦に出場しない選手が参加し、次の内容を行う。

- ・ドリブルシュート：16.5m離れたゴールまでの定められたコースをドリブルし、シュートゾーンでボールを止めた後、シュートする。
- ・コースは5個のコーンを設置し、最初のコーンはスタートラインから2.75m、最後のコーンはゴールライン手前2.75mの距離に設置する。
- ・ドリブルを始めてからシュートゾーンでボールを止めるまでに要した時間を60から引いたものを得点とする。
- ・定められたコースを通過できなかった場合は、不通過ごとに5点差し引く。
- ・シュートが入ったところの得点がボーナス点として加算される。

(3) 組合せチームごとに役員の指示によって進行される。

3. その他

(1) 監督者会議は行わない。

詳細については、申し込み締め切り後にメール等で連絡し、大会当日に確認を行う。

(2) 団体戦は、参加チーム数によって、トーナメント方式あるいはリーグ戦方式を決定する。

(3) 団体戦参加チームは、審判を依頼する場合がある。

(4) 競技方法や招集方法、表彰等に変更が生じる場合がある。

(5) 大会プログラムは事前に送付する。

(6) 試合コートにはチーム関係者のみ入場可能とする。